

ほんとうに意味あるの？みたいなことも
今振り返ると一つも無駄になっていなくて、
全部が繋がっていると思います。

俳優
高橋 亜衣 さん

俳優で気象予報士の資格もお持ちの高橋亜衣さんにインタビュー。
リハーサル前に、四谷のライブハウスでインタビューを行い、撮影をさせていただきました。劇団四季でのご経験や気象予報士として活躍された中で感じられたことをお伺いしました。



Profile

劇団四季出身。代表作は「ウェストサイド物語」「美女と野獣」「アイーダ」「サラリーマンナイトフィーバー」
特技 ジャズダンス・クラシックバレエ・日本舞踊・殺陣・数学
資格 気象予報士、健康管理士一般指導員・健康管理能力検定1級、日本舞踊 西崎流 名取・師範免許状（西崎線亜）・家元 西崎線に師事、中学・高校教諭一種免許状（数学科）
舞台上に映画に月1の事務所LIVEに出演中。アキヤマ・オフィス所属

幼少期から始めた数多くの習い事

パナマで過ごされた幼少期のことをお聞かせください

パナマは当時、米軍に侵攻されていたので、治安が悪く、ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」のような情景でした。母は私があまり出歩けないことを気にして、たくさん習い事をさせてくれました。帰国してからは日本舞踊と、児童劇団に入りました。日本のお友達と新しい人間関係でやっていかなくてはいけなかったので、習い事を通して母が交流する力や発言する力を積極的に伸ばしてほしいということで始めました。

小学生のときはどのように過ごされていましたが

私は小学校を4回くらい転校しているんです。児童劇団に入っていると、どうしても「今日は仕事があるので、学校を早退します」という日もあったんですね。それをよく思わないお友達もいたんですが、今思うと4回も転校しているおかげで、環境順応力みたいなのは身についたのかなと思います。

中学・高校生のときはどのように過ごされていましたが

中学受験で鷗友学園に入ったんですけれど、本当に勉強させられました。鷗友に入ったときは、「勉強は才能だ」と思っていて、勉強しないでテストを受けていたので、ひどい点だったんですけれども、そこで学ぶことの楽しさや、「やれば全部成果に現れるんだ！」ということを覚えてもらいました。

運命的な出会いから、劇団四季への入団

大学3年生で劇団四季に入団されたときのエピソードをお聞かせください

ジャズダンスのスタジオに通っていたときに、同じ年頃の子がたまたま帰りに話しかけてきてくれて、「四季のオーディション、二週間後に書類の締め切りだから、出そうと思ってるんだ！」と、オーディションのことを教えてくれたんです。その子に引張られるようにして受けたら、たまたま受かったという感じです。そのお友達と二人で一緒に受かったんです。

劇団四季に入団時代に最も印象に残っているのはどの公演ですか

やっぱり初舞台「ウエスト・サイド・ストーリー」ですね。オーディションで審査員の目にとまって、幼少期にパナマで育ったので、ラテン的なハートが踊りにも出たのだと思います。お友達は、試験がダメで初舞台を踏めなかったんですね。その子の方まで頑張りましたが、私もやっぱり中々デビューできなかったです。半年くらいの間、日の出くらいに家を出て夜11時くらいまでレッスンがあって、本当にハードでした。初日、デビューする日も朝呼び出されて、「歌聞きの試験があります！」と言われ、もし落ちたら、あっ！初舞台を踏めずにさよならなんだ…と思いつつやった記憶がありましたので、「初舞台に立てて、本当によかったな」と、一番の記憶に残る思い出の作品です。

気象予報士資格の取得

劇団四季を退団してから気象予報士の資格を取ろうと思ったきっかけを教えてください

四季にいたときに、机に向かって学問を勉強するということがなかったので、久しぶりにすごく勉強したくなってしまったんです。

大学時代の友人が「就活の時に資格があるといいから、一緒に予報士の勉強をしようよ！」って二人で一緒に通信教育の気象予報士の教材を取り寄せたんです。それが家に残っているのが気になっていたんで、勉強しました。

気象予報士として働かれて感じた大変さはどのような点ですか

ずっと気象庁のページをチェックしたり、四六時中天気のことを考えていました。夜中の勤務もあったので、午前2時に起きて出社して、7時の放送なので4時くらいに撮影して、それまでに尺に合うように原稿を書きました。CGとかもデザイナーさんに発注して、リハーサルして、というのを本番の時間までにやらなければならないので、そういう大変さはあったのかなと思います。

これまで数多くの難しい挑戦を乗り越えてきたなかで、共通して大事だと感じたことはありますか

心の部分で「見返したい」という気持ちがあったほうが、いろんなことにチャレンジできて頑張れるかなと思います。

本当に意味あるの？みたいなことも沢山やってきたのですが、今振り返ると一つも無駄になってなくて、これはこの時に役立ったとか、全部が繋がってるんだなと思います。

最後に子どもたちにメッセージを

お互いが高めあえるような、刺激しあえるようないいお友達に沢山出会ってほしいですね。私達のような年代からできたお友達と、小学校や鷗友で出会ったお友達はまた違うもので、久しぶりにそのお友達に会えば、当時、そんなに仲良くなかった人達でも、それだけで気持ちがその当時に戻って繋がったりします。子どもの頃に出会ったお友達や先生は大切にしてほしいなと思います。

